

平成28年度
湖南省環境審議会

生活環境保全活動について

環境調査	P 1
工場立入調査	P 12
公害・苦情発生の状況とその対応	P 13

環境基本計画の重点プロジェクトについて

環境基本計画の取組状況	P 15
-------------	------

平成29年3月29日
湖南省市民環境部生活環境課

環境調査

調査種別		調査概要	
大気環境調査	「湖南省公共施設」周辺の 大気環境調査	<ul style="list-style-type: none"> ・目的 環境基準の適合状況の把握 ・大気環境調査地点 4地点（市役所東庁舎、西庁舎、菩提寺コミュニティセンター、水戸まちづくりセンター） ・調査実施日 4回／年（6月、9月、12月、3月） ・調査方法 調査対象施設周辺の大気を採取 ・調査項目 二酸化硫黄、二酸化窒素、浮遊粒子状物質 ・調査結果 公共施設周辺4ヶ所共に二酸化硫黄、二酸化窒素、浮遊粉じんはいずれも環境基準以下であった（過去から値としてはほとんど変わっていない） 	
	「工場排ガス」ばい煙調査 (ばい煙発生施設)	平成27年度	平成28年度
		<ul style="list-style-type: none"> ・目的 大気汚染防止法に基づく、ばい煙発生施設の特定施設を設置している事業場から排出される排ガスのばい煙濃度の排出基準適合状況の把握及び監視 ・調査対象施設 2事業場、2施設（フェノール除去装置） ・調査結果 全ての事業場の排ガスのフェノールは、規制基準値以下の測定結果で規制基準を達成した 	VOC（揮発性有機化合物）排出施設の濃度分析と臭気分析を実施する予定。 <ul style="list-style-type: none"> ・調査対象施設 1施設 ・調査結果 分析中
「廃棄物焼却施設」ばい煙 調査（ばい煙発生施設）	<ul style="list-style-type: none"> ・目的 大気汚染防止法に基づきばい煙発生施設の特定施設を設置している市内の産業廃棄物中間処理業者の「廃棄物焼却炉」の煙道から排出される排ガスのばい煙濃度の排出基準値の適合状況を把握及び監視 ・調査対象施設 市内の産業廃棄物中間処理業者3業者、3施設の廃棄物焼却施設 ・規制基準 「滋賀県公害防止条例施行規則」規制の基準 第9条（3） ・調査時期 1回／年（2月） ・調査項目 ばいじん、硫黄酸化物、窒素酸化物、塩化水素 ・調査結果 全ての事業場の排ガスは、規制基準値以下の測定結果で規制基準を達成した。 		

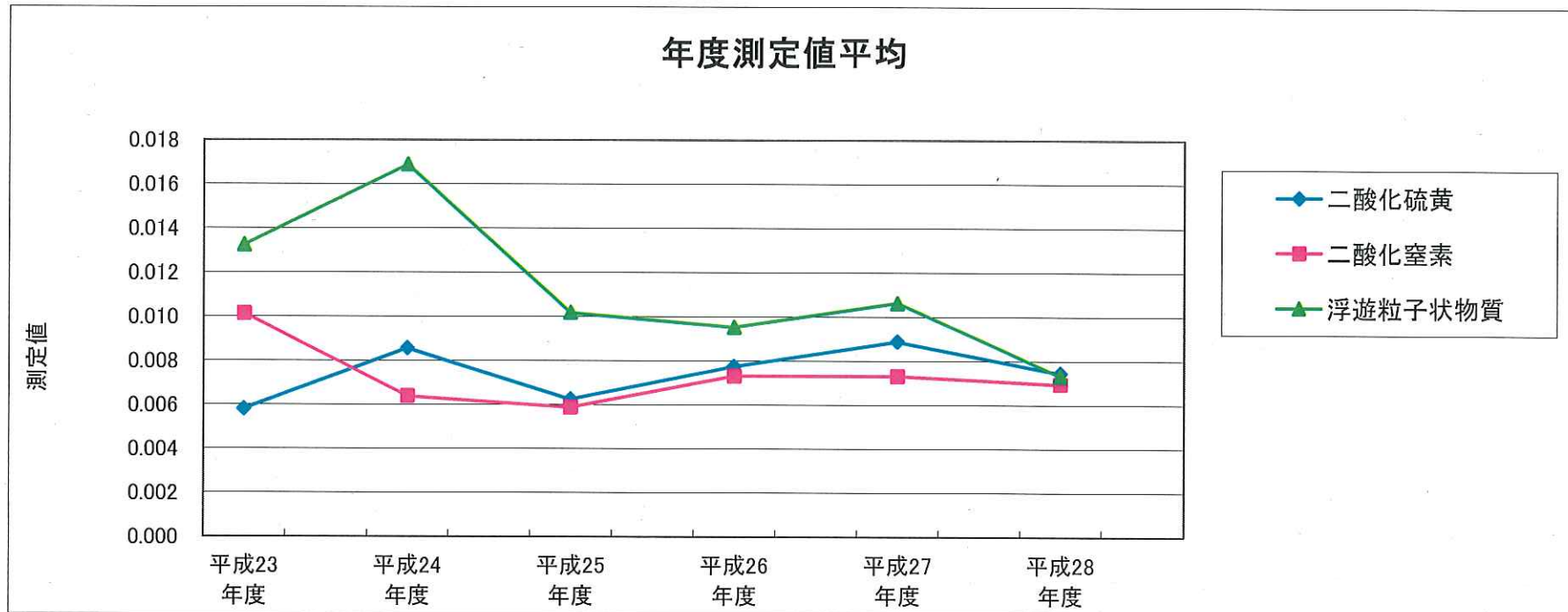
調査種別		調査概要	
水質調査	「河川(公共用水域)」水質調査	<ul style="list-style-type: none"> ・目的 本市を縦断する野洲川や市域を流れる主要な河川及び日野川へ流れ込む「河川」の環境基準適合状況の把握 ・調査実施河川 市域を流れる主要な河川の13河川、16ポイント(別紙のとおり) ・調査方法 河川をA(6河川・8ポイント)、B(7河川・8ポイント)グループに分けて調査採水 ・水質基準 「河川生活環境の保全に関する環境基準」の河川類型A ・調査頻度及び項目 生活環境項目(pH等8項目) 1回/3ヶ月 有害物質項目(農薬系4項目、有機塩素系化合物11項目、その他12項目) 1回/年 ・調査結果 <ul style="list-style-type: none"> <一般項目> 大腸菌群数：環境基準1,000個をほとんどの河川で超過していた。 pH・BOD・DO：一部の河川で規準をオーバーしていた。 COD・SSは環境基準以下の測定結果で、環境基準を達成している。 <健康項目> 特定有害物質(農薬、揮発性有機化合物)：全ての調査ポイントで環境基準以下又は不検出で環境基準を達成している。 <野洲川> 琵琶湖へ流れ込む野洲川では、水質に与える影響の大きい一般項目のpH、COD、BOD、SS、DO、N、Pの各項目においては大きな変化はない。 	
	「工場排水」水質調査	<ul style="list-style-type: none"> ・目的 水質汚濁防止法に基づき、市内の主要工場・事業場の特定施設から排出される「工場排水」の排出基準及び環境保全協定の締結項目との適合状況の把握と監視 ・水質規制基準 「滋賀県公害防止条例施行規則」の排水基準 第9条(1) ・調査頻度及び項目 1回/年 一般項目及び該当する有害物質項目 ・調査方法 事業場が稼働中の昼間に最終放流口で採水 ・調査結果 	
		平成27年度	平成28年度
	54事業場中 <ul style="list-style-type: none"> ・排水基準値以下の事業場：51事業場 ・排水基準値超えの事業場：3事業場 pH:1事業所、T-N:1事業所、T-P:1事業所 	57事業場中 <ul style="list-style-type: none"> ・排水基準値以下の事業場：54事業場 ・排水基準値超えの事業場：3事業場 pH:2事業所、BOD、COD:1事業所 	

調査種別		調査概要
水質検査	「妙感寺環境水」水質調査	<ul style="list-style-type: none"> ・目的 過去に操業してた産業廃棄物最終処分業者の旧処分地（最終処分地能力1,750㎡、容積9,428㎡）からの水質監視 ・調査実施内容 妙感寺旧処分場から排出する水（妙感寺環境水） ・環境基準 「廃棄物埋立地排水基準」及び「河川生活環境の保全に関する環境基準」の河川類型A ・調査頻度 2回／年 ・調査項目 「廃棄物埋立地排水基準」及び「河川生活環境の保全に関する環境基準」の河川類型Aの検査項目 ・調査方法 妙感寺旧処分場から排出する環境水を採水 ・調査結果 環境基準を達成した。
	「湖南省リサイクルプラザ排水」水質調査	<ul style="list-style-type: none"> ・目的 市の施設で廃棄物のリサイクル事業を行なっている「湖南省リサイクルプラザ」の排水の水質検査を実施し、環境基準の適合状況の把握と監視を目的に、水質検査を実施した。 ・環境基準 「河川生活環境の保全に関する環境基準」の河川類型A ・調査頻度 1回／年 ・調査項目 一般項目及び該当する有害物質項目 合計22項目 ・調査方法 「湖南省リサイクルプラザ」からの排水を採水 ・調査結果 全ての項目において、排水基準値以下の測定結果で排水基準、環境基準を達成した。
	「地下水定期モニタリング」水質調査（滋賀県調査）	<p>滋賀県による水質汚濁防止法に係る常時監視調査で、地下水質の概況を把握することを目的に県の「地下水水質測定計画」に基づき石部、三雲、岩根、下田地区の井戸で調査を実施された。</p>
ダイオキシン類調査 ①「湖南省不燃物処理場」 ②「妙感寺環境水」 ③「廃棄物焼却施設」 ④「廃棄物焼却施設周辺地域の土壌」	<ul style="list-style-type: none"> ・目的 市内の廃棄物処理関連施設のダイオキシン類濃度の把握及び監視 ・調査対象 市内の廃棄物処理関連施設 水質：湖南省不燃物処理場、妙感寺環境水 / 大気：産業廃棄物処理業者の廃棄物焼却施設 土壌：産業廃棄物処理業者の廃棄物焼却施設」の敷地及びその周辺地域 ・調査項目 ダイオキシン類の濃度調査 ・調査結果 いずれも環境基準、排出基準値以下である。 	
環境放射線測定	<ul style="list-style-type: none"> ・目的 平常時における環境放射線レベルの把握 ・調査地点 4地点（市役所東庁舎、西庁舎、菩提寺コミュニティセンター、水戸まちづくりセンター） ・調査実施頻度 1回／年 ・調査方法 サーベイメータによる 測定器：日立アロカメディカル社製シンチレーションサーベイメータTCS-172B 測定位置：地上から1mの地点 ・調査結果 いずれの地点の放射線量も変化が無く、人体に影響を与えるような測定値は観測されなかった。 	

<環境調査資料>大気環境調査結果

年度測定値平均

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	環境基準(日平均)
二酸化硫黄	0.006	0.009	0.006	0.008	0.009	0.007	0.04以下ppm
二酸化窒素	0.010	0.006	0.006	0.007	0.007	0.007	0.04~0.06以下ppm
浮遊粒子状物質	0.013	0.017	0.010	0.010	0.011	0.007	0.10以下mg/m ³



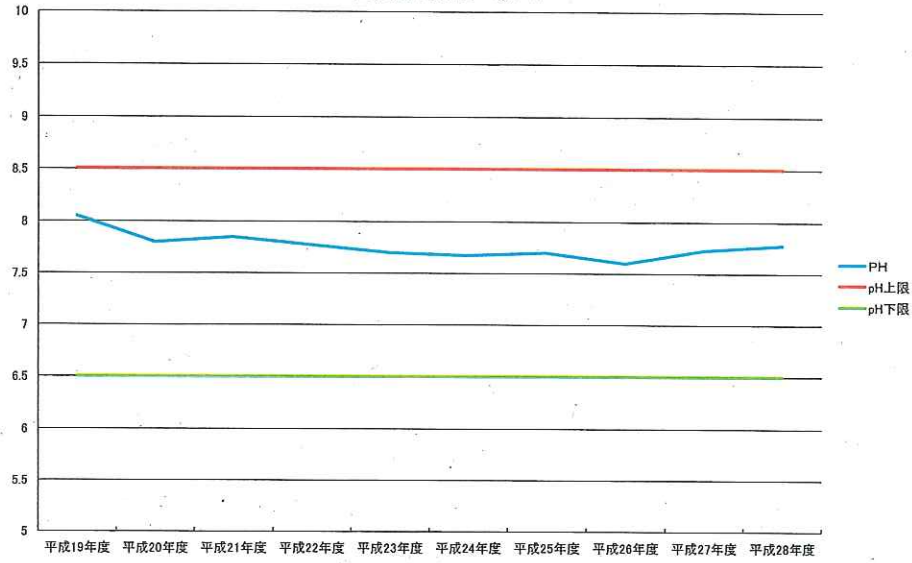
<環境調査資料>平成27年度 河川水質測定結果

測定河川名	祖父川		茶釜川	思川		野洲川	長谷川	大谷川	大山川	新田川	荒川	家棟川	宮川		広野川	落合川	河川生活環境 環境基準(A)	
	上流	下流	-	上流	下流	-	-	-	-	-	-	-	下流	上流	-	-		
	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P		
水 温 (°C)	18.3	18.1	18.9	21.4	19.5	17.8	17.8	17.4	18.8	18.0	18.3	17.1	17.5	16.3	17.4	17.5		
生活環境項目	PH	8.4	7.4	7.4	7.7	7.6	7.7	7.6	8.7	7.4	7.7	8.2	7.1	7.8	7.5	7.5	7.6	6.5以上8.5以下
	DO	14	9	8	9	9	10	10	11	11	10	10	8	10	9	9	10	7.5mg/L以上
	BOD	1.2	1.0	1.0	1.5	1.1	0.9	0.9	0.9	1.9	1.1	0.8	0.9	1.4	0.7	0.9	1.0	2mg/L以下
	COD	4.7	4.3	4.3	6.2	5.2	2.5	4.2	2.4	5.1	3.4	2.5	2.9	3.9	1.9	2.7	2.6	-
	SS	3	3	3	9	7	3	3	2	6	11	2	12	4	2	3	3	25mg/L以下
	大腸菌群数	4,850	13,950	41,425	4,670	7,375	3,398	6,775	9,525	8,892	15,075	22,673	8,148	16,975	5,175	12,875	11,325	1000MPN/100ml以下
	T-N	0.69	0.75	1.07	1.42	1.19	0.70	0.70	0.65	0.55	0.81	0.42	0.89	0.57	0.37	0.82	0.75	-
	T-P	0.038	0.030	0.032	0.172	0.118	0.029	0.043	0.022	0.030	0.083	0.022	0.061	0.059	0.021	0.044	0.038	-
健康項目	カドミウム	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	0.01mg/L以下
	シアン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	検出されないこと
	鉛	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.01mg/L以下
	6価クロム	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.05mg/L以下
	ヒ素	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.01mg/L以下
	水銀	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.0005mg/L以下
	アルキル水銀	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	検出されないこと
	亜硝酸性窒素	0.026	0.021	0.089	0.089	0.064	0.010	0.023	0.010	0.009	0.011	0.008	0.013	0.010	0.006	0.011	0.010	10mg/L以下
	硝酸性窒素	0.80	0.37	0.38	0.57	0.69	0.58	0.33	0.43	0.26	0.50	0.43	0.52	0.32	0.32	0.56	0.56	10mg/L以下
	フッ素	0.1	0.2	0.1	<0.1	<0.1	0.1	0.1	0.1	0.2	0.5	0.5	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	0.8mg/L以下
	PCB	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	検出されないこと
	セレン	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.01mg/L以下
	ホウ素	0.01	0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	1mg/L以下

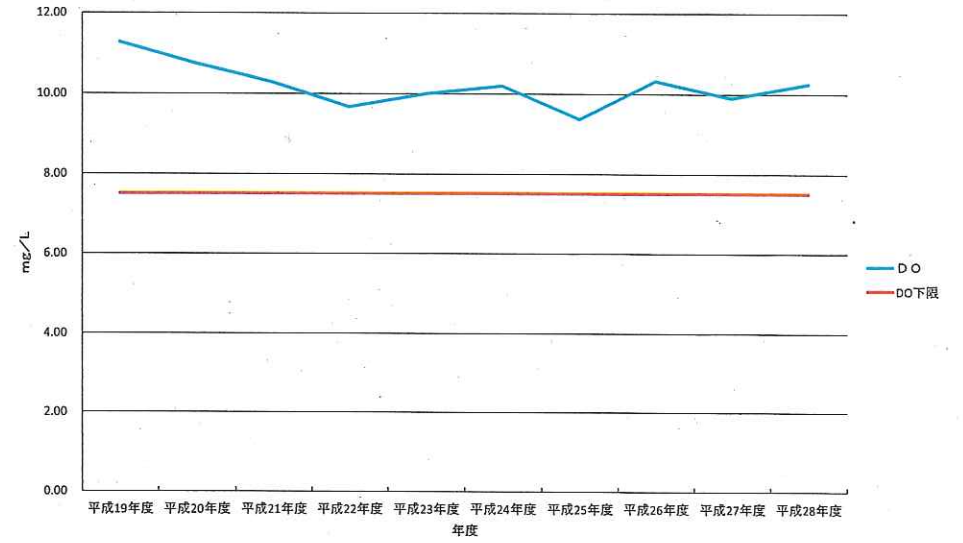
<環境調査資料>平成19年度～平成28年度野洲川水質測定結果

年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度		
水 温 (°C)	16.3	15.5	15.3	17.9	17.7	16.1	18.4	16.5	17.8	16.6	河川生活環境 環境基準(A)	
生活 環境 項目	①PH	8.1	7.8	7.9	7.8	7.7	7.7	7.7	7.6	7.7	7.8	8.5以上8.5以下
	②DO	11	11	10	10	10	10	9 ^F	10	10	10	7.5mg/L以上
	③BOD	1.2	1.1	1.4	1.0	1.4	0.9	1.0	0.8	0.9	1.2	2mg/L以下
	④COD	3.3	2.8	3.0	2.8	2.7	2.5	3.0	2.7	2.5	2.7	—
	⑤SS	3	5	6	3	4	3	7	9	3	3	25mg/L以下
	⑥大腸菌群数	2,450	2,615	6,703	3,375	3,123	4,473	8,823	12,825	3,398	6,858	1000MPN/100ml以下
	⑦T-N	0.87	0.93	0.79	0.61	0.75	0.71	0.78	0.67	0.70	0.69	—
	⑧T-P	0.039	0.036	0.033	0.033	0.029	0.025	0.036	0.029	0.029	0.034	—
健康 項目	⑨カドミウム	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<.001	<0.001	<0.001	<0.0003	<0.0003	0.01mg/L以下
	⑩シアン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	検出されないこと
	⑪鉛	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.01mg/L以下
	⑫6価クロム	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.05mg/L以下
	⑬ヒ素	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.01mg/L以下
	⑭水銀	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.0005mg/L以下
	⑮アルキル水銀	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	検出されないこと
	⑯亜硝酸性窒素	0.018	0.900	0.600	0.490	0.006	<0.02	0.008	0.001	0.010	0.008	10mg/L以下
	⑰硝酸性窒素	0.72	0.90	0.60	0.01	0.68	0.71	0.74	0.55	0.58	0.58	10mg/L以下
	⑱フッ素	0.2	0.2	0.1	<0.1	0.1	0.1	0.1	<0.1	0.1	<0.1	0.8mg/L以下
	⑲PCB	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	検出されないこと
	⑳セレン	ND<0.001	ND<0.001	ND<0.001	<0.002	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.01mg/L以下
㉑ホウ素	0.02	0.01	0.02	0.01	0.001	0.01	<0.01	0.01	0.01	0.01	1mg/L以下	

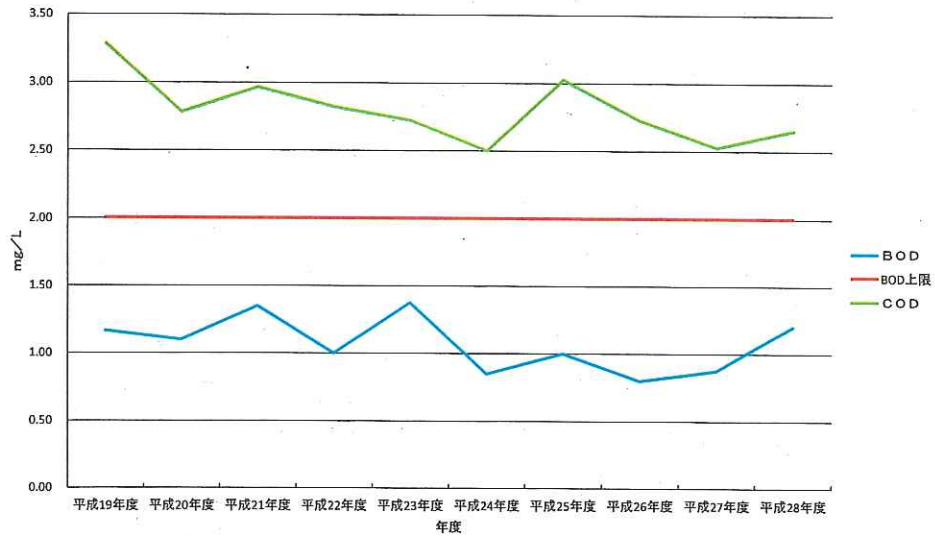
生活環境項目 ①PH



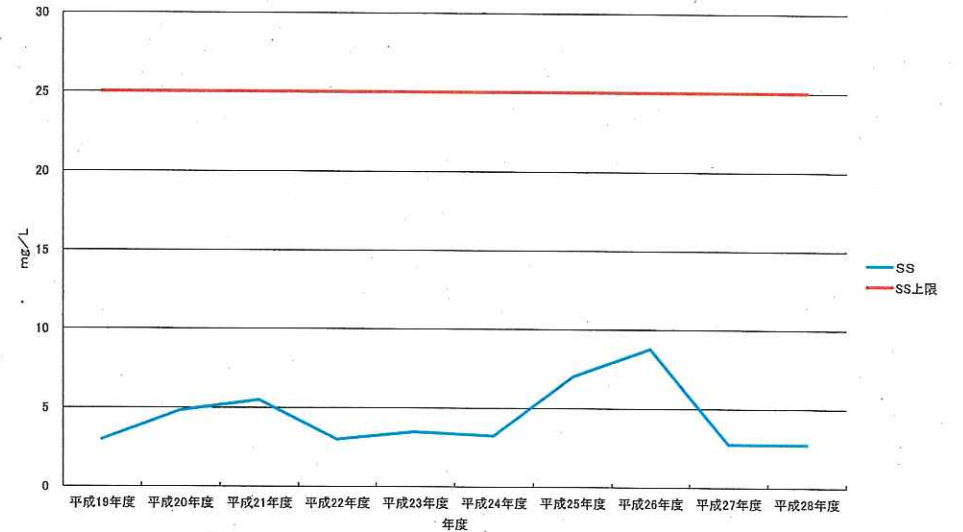
生活環境項目 ②溶存酸素(DO)



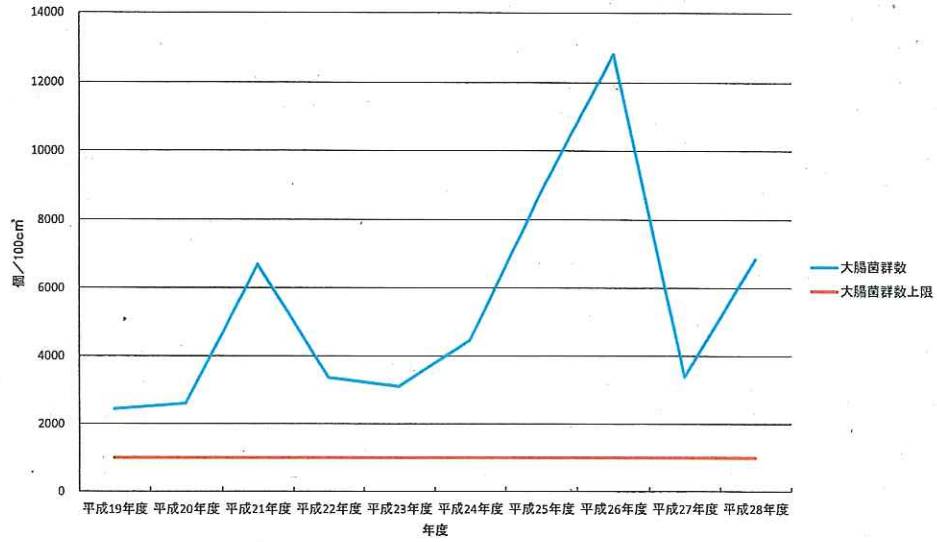
生活環境項目 ③BOD ④COD



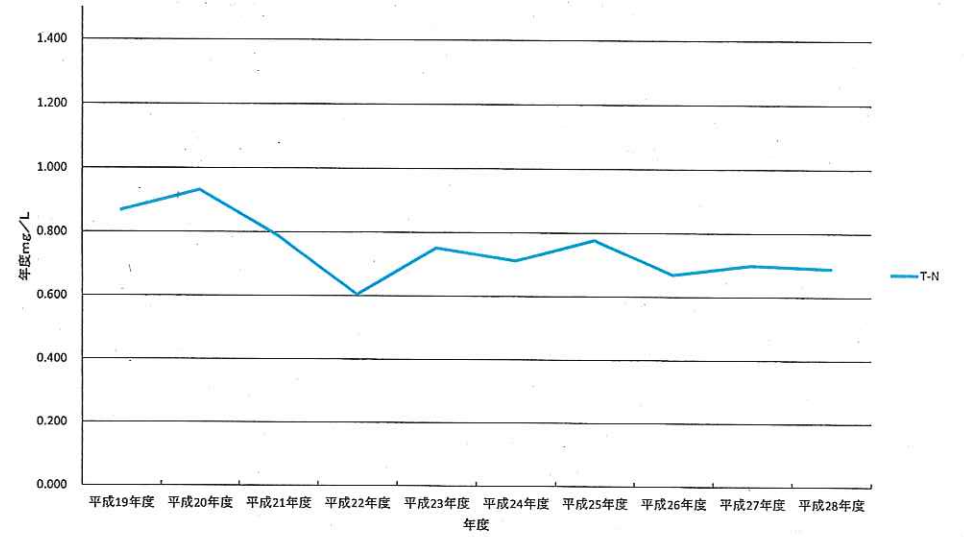
生活環境項目 ⑤浮遊物質(SS)



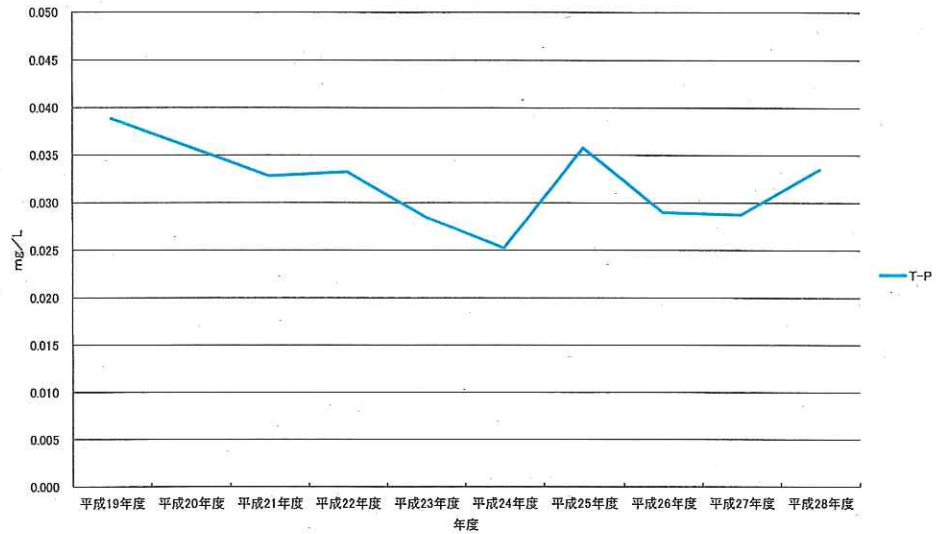
生活環境項目 ⑥大腸菌群数



生活環境項目 ⑦窒素含有量



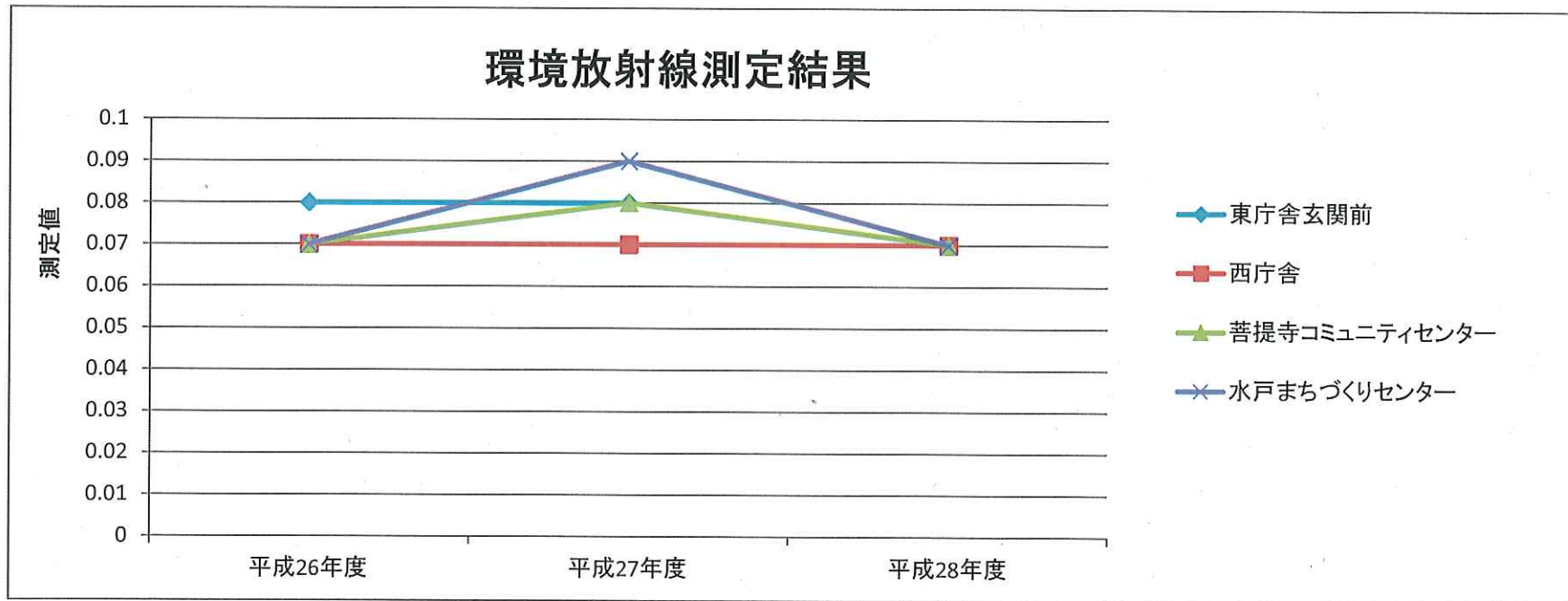
生活環境項目 ⑧燐含有量(T-P)



<環境調査資料>環境放射線測定結果

測定器：日立アロカメディカル社製 シンチレーションサーベイメータ TCS-172B / 測定位置：地上から1m

測定場所	平成26年度			平成27年度			平成28年度		
	測定日	時間	測定値 ($\mu\text{Sv/h}$)	測定日	時間	測定値 ($\mu\text{Sv/h}$)	測定日	時間	測定値 ($\mu\text{Sv/h}$)
東庁舎玄関前	10月17日	9時00分	0.08	11月27日	15時30分	0.08	3月17日	11時10分	0.07
西庁舎	10月28日	10時00分	0.07	11月27日	15時00分	0.07	3月17日	9時00分	0.07
菩提寺コミュニティセンター	10月28日	9時40分	0.07	11月27日	14時40分	0.08	3月17日	9時20分	0.07
水戸まちづくりセンター	10月28日	9時00分	0.07	11月27日	14時15分	0.09	3月17日	9時50分	0.07



工場立入調査

滋賀県甲賀環境事務所では環境関連法令の遵守、環境保全の意識啓発並びに事故等の未然防止を図ることを目的に、調査対象事業場の事業内容の把握、特定施設の設置・管理状況、有害物質の使用・管理状況、廃棄物管理状況、環境管理体制及び現場の査察等を計画的に実施されております。

市も平成16年度よりこの工場・事業場立入調査に同行し、騒音・振動の特定施設について調査を行っております。

■騒音・振動等の特定施設に対する文書指導の状況

<平成27年度> 立入調査実施事業所数：18事業所

業種	文書指導の内容等	対応等
製造業 4社	騒音・振動規制法に基づく届出に関する指導(4社) 環境保全協定締結の検討(1社)	代表者氏名、特定施設の数等の変更届出を後日提出 環境保全協定は現在未締結
食品製造業 2社	騒音・振動規制法に基づく届出に関する指導	代表者氏名、特定施設の数等の変更届出を後日提出
化学工業 1社	騒音・振動規制法に基づく届出に関する指導	代表者氏名、特定施設の数等の変更届出を後日提出

<平成28年度> 立入調査実施事業所数：18事業所

業種	文書指導の内容等	対応等
製造業 5社	騒音・振動規制法に基づく届出に関する指導	代表者氏名、特定施設の数等の変更届出を後日提出

公害・苦情発生状況とその対応

■騒音・振動

「騒音規制法」では、工場・事業場における事業活動並びに建設工事に伴って発生する相当範囲にわたる騒音について必要な規制を定めており、本市では指定区域及び時間の区分で規制値を定めると共に必要に応じて工場・事業場と上乗せ規制等を盛り込んだ「環境保全協定」を締結しています。

近年は、日常生活に起因する騒音の多様化が進み、それらが原因となる騒音問題も発生しており、これらの苦情を解決することにより市民の良好な生活環境の確保に対応しています。

尚、振動は「振動規制法」によりますが、「騒音規制法」とほぼ同内容の規制内容になっており、騒音と併せて対処しております。

■悪臭

「悪臭防止法」では、規制地域内の工場・事業場の事業活動に伴って発生する悪臭についてひつような規制を定めており、本市では悪臭物質を排出させる事業場の敷地境界での特定悪臭物質の濃度（1号規制基準＝一般区域）を規制値を定めると共に必要に応じて必要に応じて工場・事業場と上乗せ規制等を盛り込んだ「環境保全協定」を締結しています。

市内では一部地域で工場からの悪臭に関する苦情問題が発生しております。

また、近年は、工場・事業場等から発生する特定悪臭物質以外からの悪臭の苦情や浄化槽整備不備に起因する個人住宅での悪臭の問題も発生しており、これらの苦情を解決することで市民の良好な生活環境の確保に対応しています。

■環境保全協定締結状況（「湖南省生活環境保全条例」第42条）

	協定締結数	内上乗せ規制等を盛り込んだ環境保全協定締結数 (重複あり)				
		騒音	振動	悪臭	大気	水質
平成27年度	150	17	3	40	7	21
平成28年度 (1月末現在)	151	17	3	40	7	21

■ 苦情

典型7公害以外の苦情では野焼き、廃棄物の不法投棄、浄化槽の整備不良による異常排水やそれに伴う異臭、空き地の草刈及び動物の適正飼育に関する事などの苦情が多数寄せられています。

	苦情内容	水質汚濁	油の流出	騒音	悪臭	粉じん	野外焼却	空き地	その他	合計
平成27年度	件数	3	8	4	6	0	13	104	46	184
	内事業者	0	3	2	2	0	6	0	0	13
	割合	1.63%	4.35%	2.17%	3.26%	0.00%	7.07%	56.52%	25.00%	100%
平成28年度 (1月末現在)	件数	5	4	3	14	0	16	106	64	212
	内事業者	1	2	3	5	0	4	0	0	15
	割合	2.36%	1.89%	1.42%	6.60%	0.00%	7.55%	50.00%	30.19%	100.00%

湖南省環境基本計画

～ 環境未来像 ～

野洲川の清流 山々の景色 歴史が育むうつくし湖南

(計画期間：平成21年度～平成30年度)

基本目標	共生 豊かな自然と地球を未来に残します。 循環 環境負荷の小さい社会を築きます。 快適 健康で良好な生活環境を守ります。 文化 潤いのある文化的な環境をつくります。 協働 みんなが一体となって環境自治を進めます。
重点プロジェクト	①土とのふれあいプロジェクト ②里山プロジェクト ③バイオマス利活用プロジェクト ④うつくしふるさと風景づくりプロジェクト ⑤野洲川「風の道」プロジェクト ⑥低炭素まちづくりプロジェクト ⑦小さな市民協働ダムプロジェクト ⑧エコな語り部プロジェクト ⑨平成義民（環境ボランティア）プロジェクト ⑩環境情報街道プロジェクト ⑪環境作法書プロジェクト

湖南省環境基本計画 重点プロジェクトの目標値達成状況(平成28年度)

重点プロジェクト	関係課	数値目標	後期目標値 (30年度)	26年度	27年度	28年度
①土とのふれあいプロジェクト	農林保全課 産業立地企画室	農業体験事業の開催件数	10件/年	14件/年	14件/年	16件/年
②里山プロジェクト	農林保全課					
③バイオマス利活用プロジェクト	地域エネルギー課					
④うつくしふるさと風景づくりプロジェクト	都市政策課					
⑤野洲川「風の道」プロジェクト	都市政策課					
⑥低炭素まちづくりプロジェクト	生活環境課	公共施設の緑のカーテン取組率	60%	57.9%	58.3%	56%
	地域エネルギー課	コナン市民共同発電所設置 (総出力)	300kw	125kw	164kw	164kw
⑦小さな市民協働ダムプロジェクト	生活環境課 土木建設課					
⑧エコな語り部プロジェクト	生活環境課 生涯学習課 地域エネルギー課	出前講座等の開催回数	10回/年	6回/年	6回/年	5回/年
⑨平成義民(環境ボランティア)プロジェクト	生活環境課	平成義民宣言人数	60人	23人	28人	30人
⑩環境情報街道プロジェクト	生活環境課	脇本陣への情報提供	2回/年	1回/年	1回/年	0回/年
⑪環境作法書プロジェクト	生活環境課	作法書の作成	2回/年	0回/年	1回/年	0回/年

湖南省環境基本計画 重点プロジェクト ①土とのふれあいプロジェクト

①土とのふれあいプロジェクト

農業従事者の高齢化や後継者不足を背景に、耕作放棄地、あるいはその予備軍となる農地の増加が懸念されることから、農業者やNPO等の仲介などにより市民等がこのような農地を利活用できるシステムづくりに継続して取り組みます。

利活用にあたっては、市が農業者・NPO等との協働を前提としたふれあい農園や学校教育での子どもの農業体験の場所の開設、また民間事業者が取り組む都市住民をターゲットとしたグリーンツーリズムなどの方策が考えられ、国や県の支援を得て推進します。これらの農業体験を通じて市民等が自然や土とのふれあいを楽しめる一方で、耕作放棄地や遊休農地の有効的な利活用につながる事が期待されます。



「親と子のおにぎり体験」の様子



「農業後継者倶楽部88」(事務局:JAこうか)主催「さつまいも収穫体験」(右写真)

数値目標	目標値(平成30年度)
農業体験事業の開催件数	10件/年

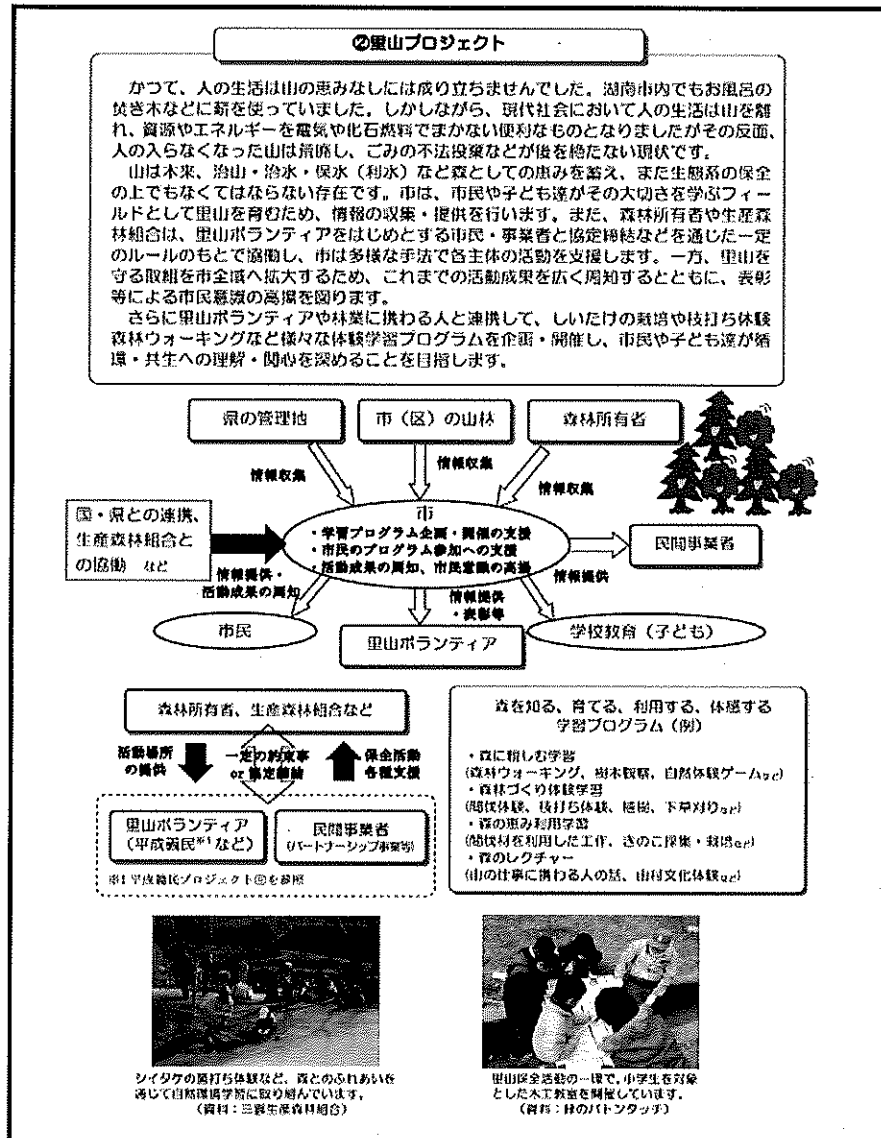
市では、農業体験学習を通して児童が生命や食べ物の大切さを学ぶ取組として、市内小学校9校で「たんぼのこ体験事業」を行っている。また、市内の農地所有者と契約して、4か所77区画の「ふれあい農園」を開設している。さらに、親子で稲刈り、露地野菜の収穫を体験できる「親と子のおにぎり体験」等を年1回以上実施している。後期もこれらの取組を継続していく。

平成28年度 重点プロジェクト進捗状況等

	取り組みの内容	進捗状況・課題・計画等
産業立地 企画室	効率的な土地利用を推進する	前年度に引き続き、環境基本計画の「土とのふれあいプロジェクト」にある市民農園の開設や学校教育の一環である米作り体験事業を行った。 また、平成27年度から湖南省から農業戦略を位置づけ、農業振興を図る上で、新たな農業担い手の育成を目的に市民の農業参入を推進するため、市民公開講座である農業塾の実施や野菜の収穫体験事業を新たに実施した。 今後、市民産業交流促進施設隣地にて、市民参加型の収穫体験が可能な農園整備を予定しており、更なる市民の土とのふれあいの場創出を図る。
農林 保全課	農地への農薬や化学肥料の使用量を減らす	滋賀県事業「滋賀県環境こだわり農業」で行われている。

数値目標	目標値 (平成30年度)	達成値 (平成28年度)
農業体験事業の開催件数	10件/年	16件/年

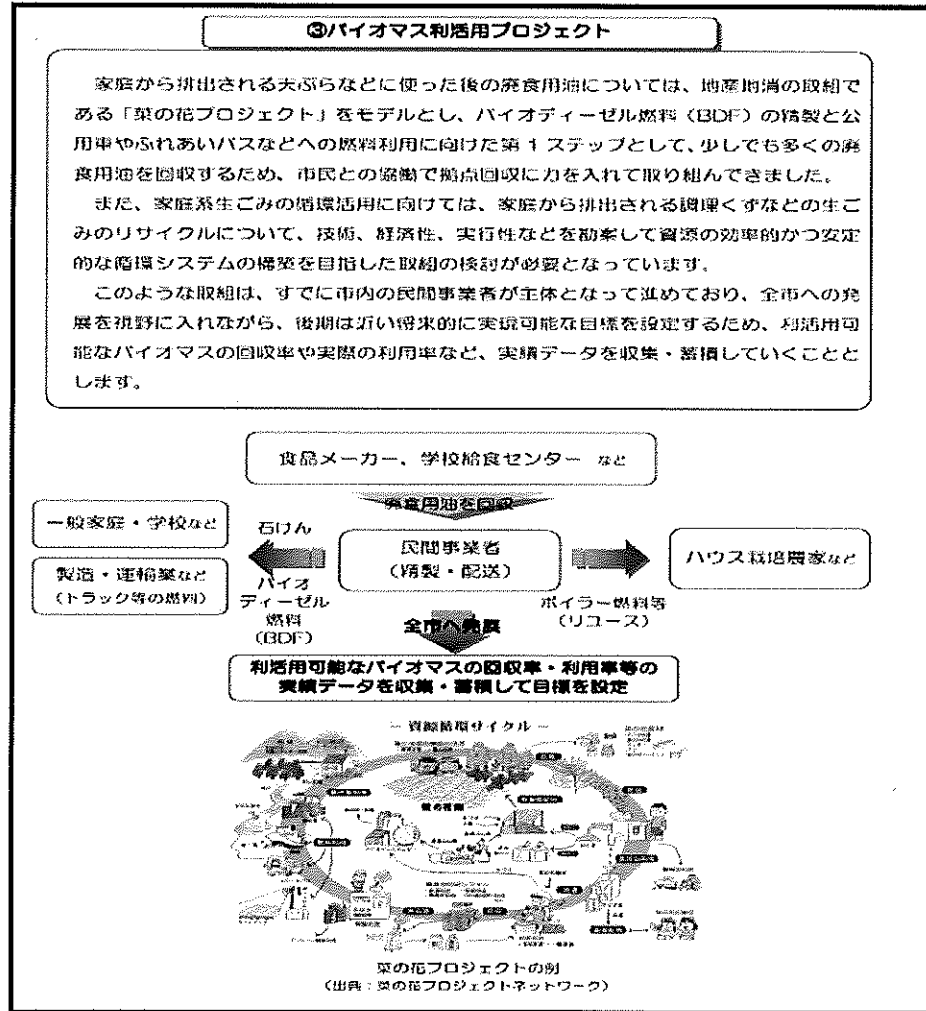
湖南省環境基本計画 重点プロジェクト ②里山プロジェクト



平成28年度 重点プロジェクト進捗状況等

	取り組みの内容	進捗状況・課題・計画等
農林 保全課	里山保全に取り組むボランティア活動をバックアップする仕組みを充実させる	情報提供等を行っているが、里山ボランティアへの活動場所の提供実績は現在のところない。 市内活動団体： みどりのパトナタッチ(石部南小事務局) つつじの会 東寺区(ふれあいの森づくり事業)
	市内にサツキ等の植樹を行う	平成28年度 4ヶ所 419本を植樹 うちサツキ 150本

湖南省環境基本計画 重点プロジェクト ③バイオマス利活用プロジェクト



平成28年度 重点プロジェクト進捗状況等

	取り組みの内容	進捗状況・課題・計画等
地域エネルギー課	再生可能エネルギー導入促進	平成24年9月に制定した湖南省地域自然エネルギー基本条例に基づき自然エネルギーを活用した取り組みを行っている。バイオマスを活用したプロジェクトの一つに、市内の甲西陸運が学校や企業から廃食用油を回収し、BDF精製後、トラックの燃料として活用している。原油価格とのコスト面やBDF燃料の軽油との混合時の税の課題がある。条例に基づき平成27年2月には湖南省地域自然エネルギー地域活性化戦略プランを策定している。同プランにおいて、バイオマスを活用した取り組みを、バイオマス燃料製造プロジェクトと位置付けし、再生可能な循環資源であるバイオマスを活かし、地域の多様な主体と連携しながら、地域内で生産から加工、消費まで担うことのできるシステムの構築を目指すこととしている。
	自然エネルギーに関する学習会	自然エネルギーに関する市民連続講座を開催している。今年度は年12回開催を行い、このうち11回はバイオマスに関する学習会等となっている。

平成28年度市民連続講座一覧

月 日	講座の概要	
5月14日	○空中栽培によるサツマイモの植付け 近畿大学 教授 鈴木高広 氏	 <p data-bbox="1532 627 1910 678">イモ発電エネルギー教室</p>
9月3日～ 25日	○湖南省新電力事業展示 in 甲西図書館	
9月21日	○イモ発電エネルギー教室 in 三雲小学校	
9月28日	○イモ発電エネルギー教室 in 菩提寺小学校	
9月28日	○イモ発電エネルギー教室 in 菩提寺北小学校	
9月30日	○イモ発電エネルギー教室 in 下田小学校	 <p data-bbox="1547 1026 1921 1077">サツマイモ収穫祭</p>
11月6日	○こにゃん元気市場での 新電力事業・市民共同発電所・イモ発電の展示紹介	
11月12日	○空中栽培によるサツマイモの収穫祭 近畿大学 教授 鈴木高広 氏	 <p data-bbox="1547 1393 1921 1444">山のフィールドワーク</p>
12月14日	○イモ発電講演会 ～イモが日本を救う！～ 近畿大学 教授 鈴木高広 氏	
12月21日	○木質バイオマス供給の仕組みを知る 有限会社ウッズ 代表取締役 能口 秀一 氏	
1月16日	○山の棚おろしフィールドワーク 有限会社ウッズ 代表取締役 能口 秀一 氏	
2月16日	○地域の森づくりとエネルギー利用について 有限会社ウッズ 代表取締役 能口 秀一 氏	

平成
28
年度

湖南省環境基本計画 重点プロジェクト ④うつくしふるさと風景づくりプロジェクト

④うつくしふるさと風景づくりプロジェクト

阿星山や十二坊・岩根山に連なる南北の線の山並みや、その中央を雄大に流れる野洲川は、湖南省の風土を形づくる重要な要素であります。このように恵まれた自然環境の中で、石部密に代表される東海道宿場町の町並みや、湖南三山などの歴史的資源が守り育まれてきました。

この取組では個性豊かなこれらの景観資源を守るとともに、市域を縁取る山々への眺望や緑豊かなオープンスペースを育み、ふるさとの風景を生かしたまちづくりを積極的に進めます。

具体的には、景観法に基づく「景観行政団体」(⇒Note参照)として、市独自の景観計画を策定し、市民の景観に対する意識の啓発や市民の主体的な景観まちづくり活動を支援する施策等を総合的に展開し、良好な景観形成の取組を推進します。

取組の例(協働で進める景観まちづくり)

市民が主役の景観づくりを促進する施策

市民の意識づくり

- ・「わがまち一景」を選定
- ・身近な景観づくりに取り組む地域団体への表彰制度の創設
- ・イベント・シンポジウムの開催

- ・広報等でのPR
- ・写真展の開催

各主体による景観形成の推進

Note「景観行政団体」とは?

国は良好な景観の形成を目指した取組を進めるために、平成16年に「景観法」を制定しました。景観法では、景観計画の策定とともに、それに基づく建築物等の形態・高さ・壁面位置等の誘導など、良好な景観形成の実現に向けた各種制度について定めています。景観行政団体は、これらの大部分の事務を実施する主体として位置付けられており、すべての都道府県・指定都市・中核市のほか、都道府県と協議した上でその他の市町村が指定を受けることとなっています。

平成25年9月30日現在で、全国の景観行政団体は598自治体によっています。県内では、これまでに滋賀県をはじめとする13自治体が景観行政団体として指定されており、湖南省は平成25年12月に県内14番目の景観行政団体となりました。

平成28年度 重点プロジェクト進捗状況等


	取り組みの内容	進捗状況・課題・計画等
都市 政策課	うつくしふるさと風景づくりプロジェクト	湖南省景観計画を平成27年4月から運用し、地域の個性を活かした景観づくりの推進に努める。重点地区:2箇所【野洲川及び国道1号周辺、三雲地域旧東海道沿道地区】
	景観形成に関する課題、取り組み	平成27年4月から湖南省景観計画を施行し、地域の個性を生かした景観形成に取り組んでいる。また良好な景観形成に大きな要因である屋外広告物に対しても湖南省景観計画と整合を図る必要があるため、独自条例を平成28年12月に制定し、平成29年4月1日から施行する。
土木 建設課	道路緑化、街路樹の整備(樹種・整備延長等)	毎年シルバー人材センターに委託し、順次進めている

湖南省環境基本計画 重点プロジェクト ⑤野洲川「風の道」プロジェクト

⑤野洲川「風の道」プロジェクト

野洲川は市域の中央を流れる開放的な空間を提供しており、湖南省の骨格となる軸としてとらえられます。そこで、国・県と協力しながら、景観づくりの取組を通じて野洲川沿いの水と緑のうらおい豊かなオープンスペース（「風の道」）を確保し、市民の憩いの場として育みます。

また、地域をネットワークする散策路等の整備を図り、レクリエーション・スポーツの場として育みます。

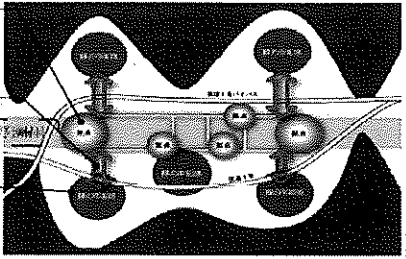


写真：野洲川親水公園
出典：湖南省都市計画マスタープラン

■拠点
市民が気軽に水と緑の環境に親しむことができる憩いややすさの拠点となる公園・緑地として、整備推進に取り組みます。

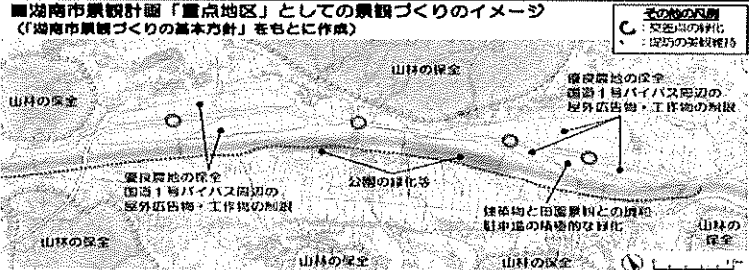
■緑のネットワーク
野洲川周辺の道路整備においては、街路樹や花の植え込みなどによる道路空間の積極的な緑化を推進します。

■緑の市街地
憩いやすい場や災害時の避難拠点となる公園・緑地の計画的な配置・整備とともに、緑豊かな市街地の整備、野川や用水を活用した親水空間の整備などに取り組みます。その中で市民の主体的な緑化活動を促し、快適な市街地環境を整備します。



■野洲川を軸としたネットワークづくりのイメージ
出典：湖南省都市計画マスタープラン

■湖南省景観計画「重点地区」としての景観づくりのイメージ
（「湖南省景観づくりの基本方針」をもとに作成）



その他の内容

- 交通の利便化
- 景観の美観維持

■野洲川の整備方針
平成25年度から現在進めている湖南省景観計画においては、野洲川を景観重要公共施設として指定する予定です。計画策定後は、その整備方針等に基づいて、関係機関との連携の下で、良好な景観づくりに向けた取組を進めていきます。

平成28年度 重点プロジェクト進捗状況等

	取り組みの内容	進捗状況・課題・計画等
都市政策課	野洲川「風の道」プロジェクト	野洲川を景観法による「景観重要公共施設」に指定し、河川管理者と連携をはかり景観向上に努める。 河川法の確認業務：3件 野洲川親水公園魅力向上プロジェクト：3回実施（平成28年度）
土木建設課	河川美化活動や一斉清掃などの地区の美化活動	河川愛護活動 43区中 平成27年度42区 平成28年度43区

湖南省環境基本計画 重点プロジェクト ⑥低炭素のまちづくりプロジェクト

⑥低炭素まちづくりプロジェクト

低炭素まちづくり（温室効果ガス排出量が少ないまちづくり）を目指した取組として、公共施設をはじめ一般家庭や地域の団体・事業所などに対して、屋上緑化や緑のカーテンの取組の普及運動を環境保全団体などと協力して推進します。また、湖南省地域自然エネルギー基本条例に基づいて、太陽光発電を活用した市民共同発電所の設置を推進するとともに、小水力発電・バイオマス発電の取組を検討していきます。

これらの取組の普及に向けては、様々な支援制度等に関する情報のほか、温室効果ガスの削減効果が大い導入事例や導入姿勢が積極的である優良事例等について、広報や市ホームページなどで紹介します。

取組の事例

屋上緑化・緑のカーテン

取り組む市民・事業者等募集

環境保全団体などの協力

種・苗を提供

屋上緑化・緑のカーテンづくり

市民共同発電所

市の広報、情報提供

市民が出資

市民共同発電所を設置（太陽光発電）

固定価格買取制度を活用して全量売電

売電益を会員に還元（地域商品券等）

湖南省地域自然エネルギー基本条例

優良事例等について広報・市ホームページなどで紹介

数値目標	目標値(平成30年度)
公共施設の緑のカーテン取組率	60%
コナン市民共同発電所設置(総出力)	300kW



ゴーヤーによる緑のカーテン
(市東庁舎)



発電機が設置された
コナン市民共同発電所プロジェクト
(中西建設株式会社)



市内で定められている
小水力発電実証事業
(株式会社ヤマツバ)

平成28年度 重点プロジェクト進捗状況等

	取り組みの内容	進捗状況・課題・計画等
生活環境課	公共施設の緑のカーテンの取組	庁舎や保育園等の公共施設でゴーヤーの栽培による緑のカーテンに取り組んだ。 平成28年度 37施設/66施設(56%※目標値60%)
地域エネルギー課	小水力発電を核にした地域ぐるみによる近いエネルギーを活用した地産地消を支援し、農村地域の活性化を図る	県の農村の「近いエネルギー」活用推進事業補助金を利用し、平成年27年度に東寺地区にて農業用水路にピコ小水力発電機を設置。発電した電力を広場の街路灯として活用している。
	太陽光発電等の導入実績	市民等の出資による地域商品券配当型の太陽光発電「コナン市民共同発電所」が、平成25年2月に初号機20kW、同年9月に2号機105kW、平成28年3月に参考機16kW、四号機23kWが設置されている。

数値目標	目標値 (平成30年度)	達成値 (平成28年度)
公共施設の 緑のカーテン取組率	60%	56%
コナン市民共同発電所設置 (総出力)	300kW	164kW

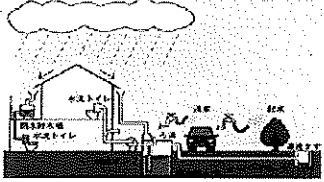
- 23 -

湖南省環境基本計画 重点プロジェクト ⑦小さな市民協働ダムプロジェクト


⑦小さな市民協働ダムプロジェクト

これまでのように、使わなくなった浄化槽などの活用に加え、デザイン性に配慮した雨水タンクの普及を通じて家庭や事業所における雨水の貯留を奨励し、庭木や道路などへの水やりや散水、自動車の洗車等への雨水利用を促進します。

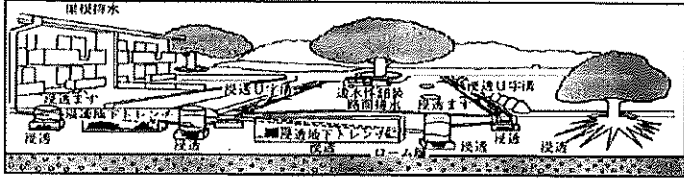
また、市の取組としては流域の健全な水循環の確保に向けて、雨水タンクの設置奨励、公共工事等における透水性舗装の採用などに取組みます。こうした小さな市民の取組や市の取組の積み重ねによって大規模ダムの機能を代替する、環境負荷の小さいまちづくりを進めます。



雨水利用システム図 (出典: 墨田区ホームページ)



木桶型にデザインされたおしゃれな雨水タンク (出典: 茨城県水戸市ホームページ)



雨水浸透施設の配置例 (出典: 環境共生のまちづくり)

取組の流れ

```

            graph LR
            A[市] --> B[取組]
            B --> C[雨水浸透ます]
            B --> D[透水性舗装]
            C --> E[地下水涵養]
            D --> E
            F[市民] --> G[取組]
            G --> H[汚止浄化槽]
            G --> I[雨水タンク]
            H --> J[水やり、散水、洗車などへの活用]
            I --> J
            
```

平成28年度 重点プロジェクト進捗状況等

	取り組みの内容	進捗状況・課題・計画等
生活環境課	雨水タンクの利用促進	雨水タンクを設置し、緑のカーテン事業のゴーヤの栽培の水やりに活用した。
土木建設課	雨水浸透施設等の整備状況	現在事例なし。開発業者が浸透する整備をした場所はあるが雨水の利用はない。

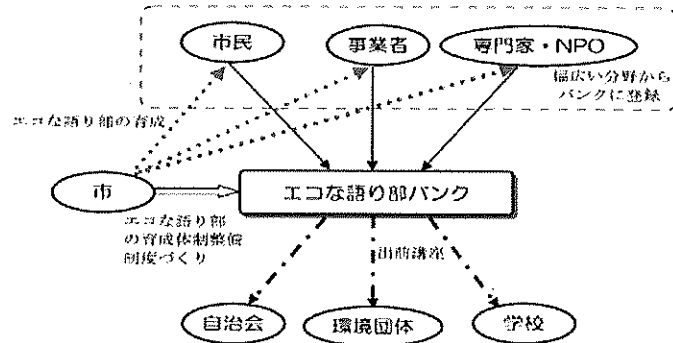
湖南省環境基本計画 重点プロジェクト ⑧エコな語り部プロジェクト

⑧エコな語り部プロジェクト

市民・事業者が環境に関する経験やノウハウを共有することをねらいに、エコドライブや省エネルギー、節水、ごみの分別などをテーマとした出前講座を企画・開催し、地域への普及を図る人材を「エコな語り部」として育成します。

この「エコな語り部」は、環境活動に取り組むNPOや環境活動団体、事業所、環境カウンセラーなど、様々な分野から幅広く環境の専門家を募り、「エコな語り部バンク」に登録してもらいます。

また、学校・自治会・事業所・環境団体等の環境に関する学習会や、出前講座に講師として出向き、環境問題への理解を地域へ広げることで、新たな「エコな語り部」の育成を図ります。



数値目標	目標値(平成30年度)
出前講座等の開催回数	10回/年



湖南省健康推進員養成講座の様子（平成25年9月27日開催）
（テーマ：「リサイクル」「節電」「食」から考える環境防止）

平成28年度 重点プロジェクト進捗状況等

	取り組みの内容	進捗状況・課題・計画等
生活環境課	環境学習等の出前講座	地域の環境活動団体と滋賀県の協力を得て小学校1校で水質検査の学習会を実施。工業団地協会の協力を得て、中学校1校で水質検査の学習に参加。地域の子ども会で地域の川や琵琶湖の水質に関する環境学習に講師として参加。市民向けの行事で廃油回収とリサイクルのPRとして石けんづくり体験を実施した。
	エコな語り部バンク	個人や団体を「エコな語り部」として環境学習に関する分野毎に登録。環境学習等の出前講座に講師協力している。
	地球温暖化対策に対する取り組み	地球温暖化防止センターと協力し、市民向けの行事の中で啓発活動を実施した。
生涯学習課	地域の歴史を勉強する環境学習会や講座などを企画・実施する	文化財講座として、市職員が講師となり「湖南省の歴史講座(全5回)」「学芸員が語る湖南省の歴史講座(全5回)」を開催したほか、外部講師による講座も実施。のべ158人の市民の参加があった。そのうち、環境に関わるものとしては「湖南省の歴史と水との関わり」(6/14開催)を実施した。今後も取組を継続する予定。

数値目標	目標値(平成30年度)	達成値(平成28年度)
出前講座等の開催回数	10回/年	5回/年

湖南省環境基本計画 重点プロジェクト ⑨平成義民(環境ボランティア)プロジェクト

⑨平成義民(環境ボランティア)プロジェクト

湖南省には、天保義民や十二坊の植林活動など、環境自治の根幹ともいえる風土が息づいています。このような歴史に刻まれたボランティア精神に学び、この環境基本計画で掲げられた各重点プロジェクトや地域の環境活動などを中心となって取り組む市民・事業者を募り、平成義民(環境ボランティア)として活動を支援します。

また、市民は先人のボランティア精神を学ぶことから始め、環境ボランティア宣言を行い、各重点プロジェクトへ積極的に参加し、環境活動の取組を通じて、環境自治の意識を醸成するとともに、地域に根付く環境自治活動を推進します。また、表彰等を通じて、これらの環境自治活動を推奨します。

```

            graph TD
            City[市] -- 支援 --> Gimin[平成義民<br/>(環境ボランティア)<br/>平成義民宣言]
            NPO[事業者・NPO] -- 参加・支援 --> Gimin
            Gimin -- 活動 --> NoCharge[止とのふれあい<br/>プロジェクト]
            Gimin -- 活動 --> Law[環境作法書<br/>プロジェクト]
            Gimin -- 活動 --> Mountain[登山<br/>プロジェクト]
            Gimin -- 活動 --> Info[環境情報街道<br/>プロジェクト]
            Gimin -- 活動 --> Eco[Ecoな語り部<br/>プロジェクト]
            Gimin -- 活動 --> Other[その他]
            City -- 参加 --> NoCharge
            City -- 参加 --> Law
            City -- 参加 --> Mountain
            City -- 参加 --> Eco
            City -- 参加 --> Other
            NPO -- 参加 --> NoCharge
            NPO -- 参加 --> Law
            NPO -- 参加 --> Mountain
            NPO -- 参加 --> Eco
            NPO -- 参加 --> Other
            
```

数値目標	目標値(平成30年度)
平成義民宣言人数	60人

天保義民の埜
山費：湖南省観光ガイド

平成義民宣言

平成28年度 重点プロジェクト進捗状況等

	取り組みの内容	進捗状況・課題・計画等
生活 環境課	環境ボランティアの取り組み	重点プロジェクト⑧エコな語り部プロジェクトで登録された「エコな語り部」は出前講座等にて講師として環境活動に協力している。
生涯 学習課	地域の環境学習に関する取り組み状況	淡海生涯カレッジの開催については平成26年度で終了。今後は、「地域づくり型市民大学」構想のなかで取り組みを進めることを選択肢のひとつとして提案する。

数値目標	目標値 (平成30年度)	達成値 (平成28年度)
平成義民宣言人数	60人	30人

湖南省環境基本計画 重点プロジェクト ⑩環境情報街道プロジェクト

⑩環境情報街道プロジェクト

東海道になぞらえて、市および市内の活動団体などが保有する環境情報が行き交う情報ネットワーク「環境情報街道」の構築に取り組みます。個人・家庭、自治会、事業所、環境活動団体などの環境情報は地域の区・自治会やまちづくり協議会（脇本陣）に集め交流するとともに、さらにそれらを市全体の情報の拠点（湖南南本陣、以下「本陣」）へ一堂に集め、相互の環境情報の共有化を図るとともに、環境自治の活動を支援します。

また、市は情報提供や情報公開に努めるとともに、区・自治会やまちづくり協議会をはじめ、市民一人ひとりや事業者、環境保全活動に携わる各種団体等の利用を促進し、それぞれが持つ情報の共有を図るとともに地域の環境の保全活動に活用できるように、環境情報の発信者としての役割を果たします。

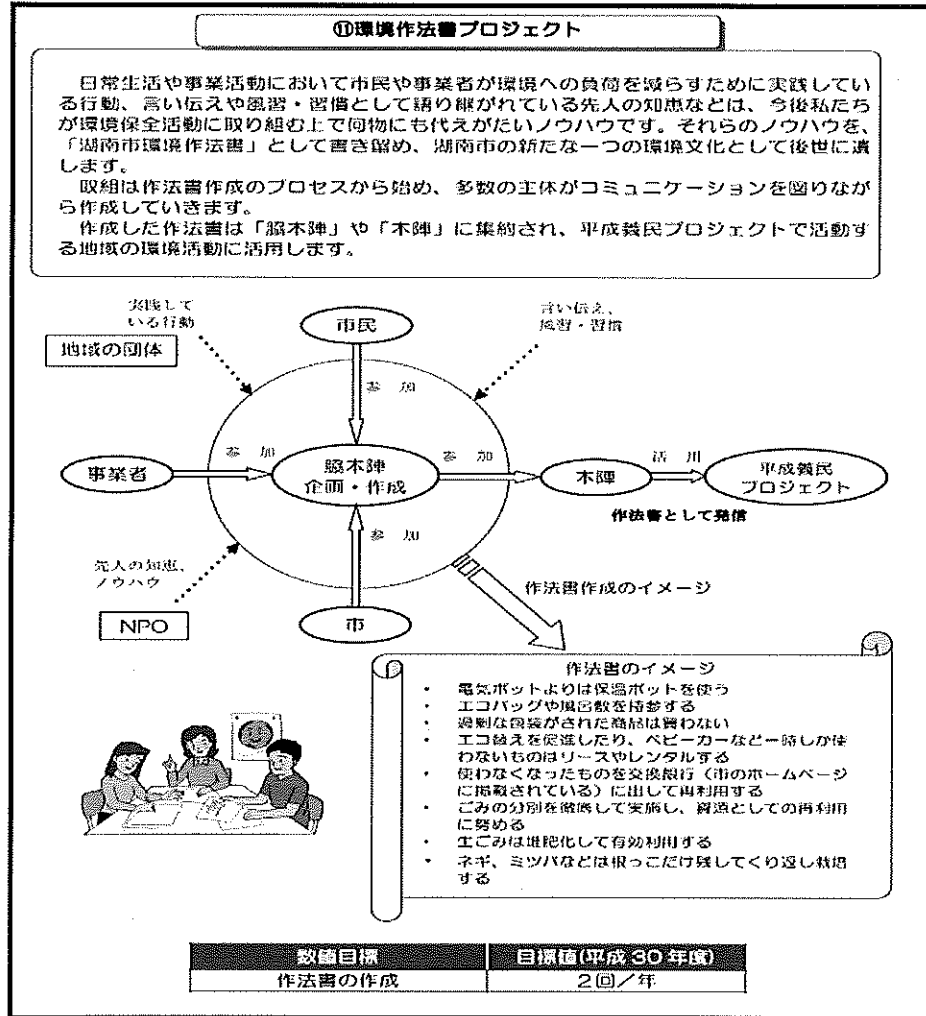
数値目標	目標値(平成30年度)
脇本陣への情報提供	2回/年

平成28年度 重点プロジェクト進捗状況等

	取り組みの内容	進捗状況・課題・計画等
生活環境課	まちづくり協議会や企業などと協力して環境情報ネットワークを構築する	湖南・甲賀環境協会と連携し、管内事業所と合同での環境事故訓練に参加した。また、湖南省内の事業所との環境情報交換会に参加し、事業所での環境への取り組みや湖南省の環境行政の動向等について情報共有を行った。脇本陣(まちづくり協議会)への情報提供は実施できていない。
農林保全課	市内の生き物調査を毎年継続して調査する	県地域整備課指導によりビオトープがなされ、生き物調査を継続して実施している。

数値目標	目標値 (平成30年度)	達成値 (平成28年度)
脇本陣への情報提供	2回/年	0回/年

湖南省環境基本計画 重点プロジェクト ⑪環境作法書プロジェクト



平成28年度 重点プロジェクト進捗状況等

	取り組みの内容	進捗状況・課題・計画等
生活環境課	作法書の作成	市からの情報を集約しているが、市民・事業者からの環境作法に関する情報は収集できていない。 今後ホームページ等を活用して情報収集とPRに努める必要がある。

数値目標	目標値 (平成30年度)	達成値 (平成28年度)
作法書の作成	2回/年	0回/年